

2022年度 東北学院大学 国語 解答速報(2月1日実施分)
全学部型(文・経済・法・教養の全学科・全コース)

解答

大問一

問一 1

問二 3

問三 A 4 B 2

問四 アイデンティティは生まれつきの属性ではなく、人と関わり合う行為の結果だとする考え方。(42字)

問五 1

問六 人と関わり合う前の自分は空っぽなのか(18字)

自分のアイデンティティは複数あるのか(18字)

問七 5

問八 場面ごとに異なる複数のアイデンティティを(20字)

問九 人間関係が会社内に限られているから。(18字)

問十 3

問十一 マクロ

問十二 日本語を話すことが〈日本人〉というマクロなアイデンティティを表すということ。(38字)

問十三 ア 1 イ 2 ウ 1 エ 2

大問二

問一 あ 軽薄 いたい かい ふう かく えい しょうそく おん げい

問二 5

問三 当意即妙

問四 4

問五 3

問六 2

問七 3

問八 か 北 き へん ぐん けい げん

講評

大問一 現代文・論説

総評

中村桃子『「自分らしさ」と日本語』からの出題。本文の難度・分量・設問数は例年並み。記述問題が3問になっている。

本年度の特色

・設問数は全一三問。通常の私大入試問題としては多めであるが、本文全体の主旨・構成に関わる問題が多く、個々の設問(空欄補充・語彙・抜き出しなど)を通して全体の主旨を整理することができる。とりわけ空欄補充を埋めると記述の方向が出る形になっており、私大の現代文入試としては典型的な形の良問。

・前述の通り記述は3問。設問数は増えたが個々の問いは「どういうこと・なぜ」といった単純な表現の文脈問題であり、至近距離の表現をまとめることで方向は出る。学院大の記述問題は設問の指定を明確に把握し、対応する文脈をしっかりとつかむことで対応できる。ただし、普段から記述問題をまとめる練習をしておくことが合格のカギとなる。

大問二

高浜虚子『俳句の作りよう』からの出題。漢字・ことわざ・慣用句などの知識問題。常識的なものである。

【学習にあたって】

細かい文脈の読み取りの問題が多いが、そうした設問を通して本文全体の構造を総合的にとらえることを求められているので、一つ一つの問題をバラバラに考えるのではなく、他の設問との関連づけを考えて処理することが必要。

とりわけ、記述問題の配点が高め(各十点前後)であることが予想されるので、早めに過去問に取り組み、コンスタントに得点できる答案を書く練習を積んでおくことは必須。

また、知識事項の配点が高め(読解が七割、知識が三割)なので、ここで得点できないと致命的。日頃から漢字・成語・慣用表現・ことわざなどの練習を怠らないこと。